

## 京都市こころの健康づくりに関する意識調査 調査項目イメージ (案)

※ゴシック体は、今回新たに追加した設問及び、前回の内容から修正した設問。

※下線を引いた箇所は、京都市自殺総合対策連絡会・京都市精神保健福祉審議会で聴取した意見を踏まえて追加・修正した部分。

※今後、委託業者からの意見を反映し、調査票を作成する。

設問		備考
1 回答者属性		
(1)	性別	
(2)	年齢	
(3)	職業（雇用形態）	【想定している選択肢】 ①勤めている（常勤）②勤めている（パート・アルバイト・契約社員・派遣社員 等）③自営業（事業経営・個人商店など）④自由業（個人で自分の専門的知識や技術を生かした職業に従事）⑤専業主婦・主夫 <u>⑥無職（求職中）</u> ⑦（⑥以外）⑧学生 ⑨その他
(4)	住まい方（同居，一人暮らし）	
(5)	同居家族	
(6)	居住区	
2 生活習慣について		
(1)	<b>睡眠の充実度</b>	【修正】「睡眠時間」から「 <b>睡眠充実度</b> 」に修正。
(2)	飲酒頻度	
(3)	飲酒量	
(4)	<b>アルコール問題に対する理解の状況</b>	
(5)	<b>普段の1週間の就業時間（残業・副業含む）</b>	
3 こころの状態や暮らしぶり		
(1)	<b>最近1カ月の悩み・ストレスの有無</b>	【修正】「感情の種類」から「 <b>悩み・ストレス有無</b> 」に修正。
(2)	<b>悩み・ストレスの内容</b>	【想定している選択肢】 <b>1 家庭問題</b> ①家族の不和（親子間）②家族の不和（夫婦間）③家族の不和（その他）④家族の死亡（自殺）⑤家族の死亡（その他）⑥家族の将来悲観 ⑦離婚 ⑧被虐待 ⑨DV ⑩子育て ⑪介護・看病疲れ <b>2 健康問題</b> ⑫身体疾患 ⑬精神疾患 ⑭障害 ⑮アルコール問題 ⑯薬物問題 <b>3 経済・生活問題</b> ⑰倒産 ⑱事業不振 ⑲失業 ⑳就職失敗 ㉑生活苦 ㉒負債（多重債務，連帯保証債務，住宅ローン 等） ㉓ギャンブル <b>4 勤務問題</b> ㉔職場の人間関係 ㉕職場環境の変化（配置転換，昇進，降格，転職 等） ㉖休職 ㉗過労 ㉘職場のいじめ ㉙非正規雇用 <b>5 パートナー間の問題</b> ㉚結婚 ㉛失恋 ㉜不倫 <b>6 学校問題</b> ㉝進路（入試） ㉞進路（その他） ㉟学業不振 ㊱いじめ ㊲学内の人間関係（教師と） ㊳学内の人間関係（他生徒と） ㊴ひきこもり ㊵不登校 <b>7 その他</b> ㊶犯罪被害 ㊷近隣関係 ㊸将来生活 ㊹性的マイノリティ ㊺ <b>居住環境の変化</b> ㊻ <b>その他</b>
(3)	<b>悩み・ストレスの対処方法</b>	【想定している選択肢】 ①買い物 ②音楽 ③スポーツ ④食べる ⑤寝る ⑥会話・電話 ⑦お酒 ⑧タバコ ⑨ギャンブル ⑩ゲーム ⑪読書 ⑫旅行・ドライブ ⑬テレビ・映画・ラジオ ⑭インターネット・SNS ⑮ <b>専門機関への相談・受診</b> ⑯ <b>宗教関連</b> ⑰ <b>その他</b>
(4)	<b>現在の幸福感</b>	
(5)	<b>自己肯定感</b>	
(6)	<b>居場所の有無</b>	
(7)	<b>居場所の内容</b>	【想定している選択肢】 ①自宅 ②学校 ③職場 ④福祉施設 ⑤居場所として運営されている施設（青少年活動センター，こころのふれあい交流サロン，健康長寿サロン，子育てサロン 等）⑥インターネット空間（具体例： ）⑦サークルやグループ活動の場 ⑧その他（具体例： ）
(8)	<b>孤独感</b>	
4 周囲の人たちや地域との関係		
(1)	不満・悩みの傾聴者	

(2)	物質的・金銭的支援者	
(3)	不満・悩み相談の抵抗感	
(4)	不満・悩み相談を受ける頻度	
(5)	不満・悩み相談を受ける相手	
(6)	不満・悩み相談相手になることへの積極度	
(7)	地域との関係	
5 相談窓口について		
(1)	悩み相談先の認知状況	【想定している選択肢】 ①保健福祉センター ②こころの健康増進センター ③いのちの電話 ④かかりつけの医療機関 ⑤各種メール相談 ⑥子供・若者総合相談窓口 ⑦青少年活動センター ⑧学内の相談室（スクールカウンセラー、大学相談室 等） ⑨地域包括支援センター ⑩その他（具体例： ） ⑪どこも知らない
(2)	相談窓口の利用意向（または、過去に利用したことがあるか）	
(3)	相談窓口を利用しない理由	
(4)	<b>相談窓口を利用した満足度</b>	
(5)	インターネット、SNS を活用した京都市のこころの相談窓口の啓発事業の認知状況	【想定している選択肢】 ①こころの健康増進センターのホームページ（ <a href="http://kyoto-kokoro.org/">http://kyoto-kokoro.org/</a> ） ②フェイスブック「われらはゲートキーパーズ！！」（ <a href="https://www.facebook.com/kokorohotot/">https://www.facebook.com/kokorohotot/</a> ） ③LINE 公式アカウント「われらは京都市ゲートキーパーズ」 ④検索連動型広告（※ヤフー、グーグル、ツイッター上で、希死念慮をうかがえるキーワードをつぶやいた、または検索した方に対して、こころの相談に関する広告を表示し、相談機関への窓口へ誘導する事業。）
(6)	深刻な悩みを抱えた時に、京都市のこころの相談窓口の情報は入手しやすいと思うか	
(7)	相談先の把握方法	①ポスター ②パンフレット ③広報誌 ④インターネット検索 ⑤パネル ⑥ティッシュ等の啓発グッズ ⑦市役所・区役所の行政情報放映用モニター ⑧周囲からの紹介 ⑨その他（具体例： ）
6 自殺に関すること		
(1)	自殺したいと考えたことの有無	
(2)	最近1年の自殺意向	
(3)	自殺したいと考えた理由	
(4)	自殺を思いとどまった要因	
(5)	周囲の自殺者の有無	
(6)	自殺相談への対応方法	
(7)	自殺実態の認知状況	【修正】我が国の自殺者数を「2万5千人」を「2万人」に修正。
(8)	「自殺は個人の問題」という考え方への評価	
(9)	自殺対策の社会的取組に対する必要性	
(10)	自殺対策の社会的取組必要性の理由	
(11)	自殺についての考え方	
(12)	自殺報道への関心内容	
(13)	身近な人の「うつ病サイン」に気づいた時の診療相談の勧め	
(14)	<b>「ゲートキーパー」の認知状況</b>	
(15)	自分自身の「うつ病サイン」に気づいた時の診療相談意向	
(16)	<b>上の問で「何も利用しない」と回答した理由</b>	
(17)	<b>産後うつ病についての理解の状況</b>	
(18)	自殺対策のために必要と思う自分自身の取組	【修正】「自殺予防」から「自殺対策」に修正。
(19)	自殺対策に対する自由意見	